

事務事業名		地域材利用促進事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目	
	施策名	20 地域の特性を生かした農林業の振興					
	基本事業名	03 林業の振興		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計 01 06 02 02 04 款 01 06 02 02 04 項目 01 06 02 02 04 事業 01 06 02 02 04	
根拠法令							
所属	部課名	農林水産部農林課					
	課長名	金野 久志					
	係名	林業係	電話	27-3111			
	担当者	佐藤 類	内線	7127			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(※期間限定複数年度のみ)																									
地域材の利用促進を図るため、大船渡市民を対象とした次の事業を実施する。 1 木質燃料燃焼機器普及事業 木質燃料の普及を目的としたペレットストーブ、薪ストーブ等燃焼機器の設置に係る費用の1/2以内で、1機当たり10万円限度として補助する。 2 地域材利用住宅普及事業 地域材を一定量使用した住宅で、新築及び増改築に対し、最大50万円を限度として補助する。		<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>1,400</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金	500	地方債		その他		一般財源	500	事業費計(A)	1,000	人件費		正規職員従事人数	1	延べ業務時間	100	人件費計(B)	400	トータルコスト(A)+(B)	1,400
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																									
		都道府県支出金	500																								
		地方債																									
		その他																									
		一般財源	500																								
	事業費計(A)	1,000																									
	人件費																										
正規職員従事人数	1																										
延べ業務時間	100																										
人件費計(B)	400																										
トータルコスト(A)+(B)	1,400																										

1 現状把握の部(DO)									
(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) ・木質燃料燃焼機器普及事業において5件、50万円の補助を行った。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 木質燃料燃焼機器</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>イ 地域材利用立米</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 木質燃料燃焼機器	基	イ 地域材利用立米	m ³	ウ	
名称	単位								
ア 木質燃料燃焼機器	基								
イ 地域材利用立米	m ³								
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・木質燃料燃焼機器普及事業で5件50万円、地域材利用住宅普及事業10件500万円の補助を計画している。									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・市内に住所を有する個人または法人若しくは団体(木質燃料燃焼機器) ・新築、増改築し、市内に居住する者(地域材利用住宅普及事業)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 木質燃料機器設置者</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>キ 新築・増改築者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 木質燃料機器設置者	件	キ 新築・増改築者	人	ク	
名称	単位								
カ 木質燃料機器設置者	件								
キ 新築・増改築者	人								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 補助金額</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 補助金額	円	シ		ス	
名称	単位								
サ 補助金額	円								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
・廃棄木材を燃料として利用することにより、燃料費の軽減を図るとともに、地域材の利用により、新築、増改築に必要な費用の軽減が図られる。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>年度</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td rowspan="6">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>250</td> <td>798</td> <td>475</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>250</td> <td>799</td> <td>1,475</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>500</td> <td>1,597</td> <td>1,950</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10,500</td> <td>2,097</td> <td>2,450</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>基</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>110</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>500</td> <td>1,597</td> <td>1,950</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)			単位							投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円	0	0	250	798	475	地方債	千円	0	0	0	0		その他	千円	0	0	0	0		一般財源	千円	0	0	250	799	1,475	事業費計(A)	千円	0	0	500	1,597	1,950	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	1	1	1	延べ業務時間	時間	0	0	100	100	100	人件費計(B)	千円	0	0	500	500	500	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	10,500	2,097	2,450	⑤活動指標	ア	基	0	0	5	5	10	イ	m ³			0	110	95	ウ							⑥対象指標	カ	件	0	0	5	5	10	キ	人			0	3	2	ク							⑦成果指標	サ	円	0	0	500	1,597	1,950	シ							ス						
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																						
		単位																																																																																																																																																												
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円																																																																																																																																																											
		都道府県支出金	千円	0	0	250	798	475																																																																																																																																																						
		地方債	千円	0	0	0	0																																																																																																																																																							
		その他	千円	0	0	0	0																																																																																																																																																							
		一般財源	千円	0	0	250	799	1,475																																																																																																																																																						
		事業費計(A)	千円	0	0	500	1,597	1,950																																																																																																																																																						
人件費	正規職員従事人数	人	0	0	1	1	1																																																																																																																																																							
	延べ業務時間	時間	0	0	100	100	100																																																																																																																																																							
	人件費計(B)	千円	0	0	500	500	500																																																																																																																																																							
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	10,500	2,097	2,450																																																																																																																																																							
⑤活動指標	ア	基	0	0	5	5	10																																																																																																																																																							
	イ	m ³			0	110	95																																																																																																																																																							
	ウ																																																																																																																																																													
⑥対象指標	カ	件	0	0	5	5	10																																																																																																																																																							
	キ	人			0	3	2																																																																																																																																																							
	ク																																																																																																																																																													
⑦成果指標	サ	円	0	0	500	1,597	1,950																																																																																																																																																							
	シ																																																																																																																																																													
	ス																																																																																																																																																													

事務事業ID	1594	事務事業名	地域材利用促進事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・地域の未利用木材の有効活用を図り、木質燃料の利用を促進及び市内への定住の促進を図るため、平成25年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・木質燃料燃焼機器は、大幅に普及したが、地域材の利用は、建築資材に軽量鉄骨材使用建築が多く、普及に歯止が掛かった状況である。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・特に出されていない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ・新築・増改築に掛る費用軽減の目的から、行政体系に結びつく。 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ・市民生活の安定を図るための事業であることから、妥当である。 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ・対象は、現状維持とし、今後の建築業況を確認していく必要がある。 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・成果の向上は、燃焼機器の導入、地域材の利用による。 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ・単年度の申請数に増加が見込まれないときは、廃止する。 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・国庫事業を取入れていることから、統合はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・国庫事業を取入れていることから、削減はできない。 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・事業の周知、申請の取りまとめ等が必要であることから、正職員を担当とすることが妥当である。 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・周知を徹底していることから、公正である。 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>木質燃料燃焼機器は、5件の申請に対し補助を実施、秋期で予算満了となった。地域材利用促進事業は、3件の申請に対し補助を実施、被災者以外の新築住宅における需要に合致した。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>木質燃料燃焼機器設置事業については、事業趣旨と住民要望が旨く兼ねあっているが、地域材利用促進事業については、地域の住宅事情や他事業との兼ね合いから申請に繋がりにくいため、早期の事業展開を行い要望の掘り起こしに努める。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	農林課長	金野 久志
---------------	-------	------	-------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>適切な事務執行がなされている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・新築・増改築に必要な費用の軽減を目的としていることから、現状維持が妥当である。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
